

閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

開催日：平成 27 年 4 月 21 日（火） 9：30～14：00

出席者：常任委員会（赤祖父委員長、立入副委員長
矢野委員、山本委員、鶴飼委員）および望月議長
説明員：建設経済部長、建設経済部次長、土木建設課長、
住宅課長、農林振興課長



現地踏査の後、説明を受け審査しました。

調査事項

1、平成 25 年台風 18 号の復旧状況について（現地踏査）

① 市道阿星線…道路崩壊・法面崩壊等



平成 27 年度 被害状況調査（200 万円）予定
かなりの復旧工事が必要で、今後は市道から林道
への計画変更や、国の補助金をいかに活用できるか
も含め、平成 28 年度から計画をしていきます。

② 普通河川堂川…護岸洗掘



平成 25 年度 仮復旧施工
住民と意見調整をしながら、できるだけ早くに復
旧工事を行います。

普通河川石橋川については、平成 27 年度に復旧工事（1215 万 2000 円）を進めていきます。

委員からの意見

県管理の 1 級河川の浚渫については、まだまだ不十分であり、落合川を含め、早急な対応を求める意見が出されました。執行部からの説明では、湖南省内 1 級河川 24 か所すべてにおいて、昨年行った県との浚渫調査の結果をもとに茶釜川、家棟川から着手していくが、他の箇所についても引き続き県に要望していくとの事でした。

委員会では、平成 25 年度に県へ要望にも行ったことから、執行部に調査の回答書の提示を求めつつ、県への要望を引き続き行うよう働きかけます。

③ 雨山山腹崩壊



平成 26 年度に県営治山事業により治山谷止工を施工し復旧工事が完了していますが、崩壊箇所の上部については県営治山事業の対象外となるため、平成 27 年度予算（1000 万円）で山腹復旧工事を行います。

④ 林道ジリメキ線



平成 26 年度から県営の復旧治山事業三雲地域として復旧工事を行っており、10 基の治山谷止工を施工する計画となっています。対象森林が普通山林であるため、保安林の指定を受け、林道改良事業補助金を受けて林道補修工事を計画しています。

2、市営住宅の現状について（現地踏査）

西寺団地、宮の森団地、堂の上団地を現地踏査し、今後の計画を含め執行部より説明を受けました。

今年度、市営住宅整備計画等を見直し、最終的に市営住宅 200 戸を整備し、民間アパートの活用も視野に入れ、検討されます。

堂の上団地は、近日中に実施設計を行い建替えを予定。宮の森団地は、平成 27 年度に改修工事を予定しています。西寺団地は、入居募集を停止して、用途廃止し、跡地は更地にして売却予定です。政策空家は 4 戸。27 年度は、国からの補助金が少ないため、2 棟ぐらいの改修工事となります。

委員からの意見

- 石部地域では、入居時に風呂釜の設置が必要で、入居者には大きな負担である。執行部からは、今後は甲西地域と同様に 3 点給湯にしていくとの回答でした。
- 駐車場について、公平性の議論を求める。
- 民間アパートの活用について早いうちに検討すべき。

